

2017年2月10日

株式会社 富士経済  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
 1番5号 PMO 日本橋江戸通  
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 TEL.03-3664-5697  
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

多種多様な志向に対応した商品の育成が進む

## デザート、米飯・めん類など64品目の国内市場

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、2016年8月より6回に分けて27カテゴリー412品目の加工食品国内市場について調査を行っている。その第3回目の結果を報告書「**2017年 食品マーケティング便覧 No.3**」にまとめた。

この報告書ではチルドデザート12品目、フローズンデザート7品目、ドライデザート6品目、米飯類10品目、めん類15品目、その他ステーブル14品目の6カテゴリー64品目の市場を調査・分析した。なお第4回目は調味料、調味食品、第5回目は農産加工品、畜産加工品、水産加工品、乳油製品、第6回目は果実飲料、炭酸飲料、乳性飲料、嗜好飲料、健康飲料、その他飲料、嗜好品の市場を調査・分析する。そして第7回目にこれまで調査・分析した各市場を総括分析する。これらの結果は順次発表していく。

### <注目の品目市場>

#### 雑穀【米飯類】 腸内フローラ改善効果でもち麦の需要が増加

2015年	2016年見込	2017年予測
173億円	206億円	208億円

景気低迷による消費者の節約志向により市場は縮小が続いていたが、テレビでその健康性が取り上げられたことで市場は2012年、2013年と拡大した。2015年はメディアで腸内環境を良くする“腸活”特集が取り上げられ、雑穀が紹介されるなど注目を集め、市場は前年並みを維持した。2016年はもち麦の腸内フローラへの効果がメディアで取り上げられたことで需要が増加しており、各社もち麦の実績が伸びていることから、市場拡大が見込まれる。

#### 冷凍米飯類（バラタイプ）【米飯類】 冷凍チャーハンが好調、各社、新商品を投入

2015年	2016年見込	2017年予測
702億円	786億円	806億円

I Q F（Individual Quick Frozen）製法によって製造されたチャーハン、ピラフなどの冷凍米飯を対象とする。

2014年は冷凍食品の農薬混入事件の影響を受け市場が縮小したが、2015年はニチレイフーズが主要商品をリニューアル、味の素冷凍食品が新商品を発売するなど市場が活性化したことで消費者の購買意欲が高まり、拡大に転じた。2016年は簡便性需要の高まりや品質の向上により、新規需要やリピーターの獲得が進んでいるほか、各社が新商品を投入するなど冷凍チャーハンに注力しており、前年比二桁の拡大が見込まれる。

#### ヨーグルト【チルドデザート】 健康価値の見直しが進み、食頻度が高まり拡大

2015年	2016年見込	2017年予測
3,073億円	3,165億円	3,265億円

市場はこのところ拡大推移しており2014年はわずかに縮小したが、2015年は腸内フローラへの関心が高まったことによりヨーグルトの健康価値への見直しが進んだ。また明治が“プリン体と戦う”を訴求する「明治プロバイオヨーグルトPA-3」を発売し、雪印メグミルクが機能性表示食品として既存ブランドをリニューアルするなど各社が多様な機能を持つ商品を投入したことで市場は拡大に転じた。2016年も引き続き消費者の腸内フローラへの関心は高く、家庭内での食頻度も高まっており、需要は増加している。機能性表示食品の増加による需要増加に加え、機能性を訴求しないロングセラー商品の好調などもあり、市場は拡大が見込まれる。

## 包装餅【米飯類】 防災向けの保存食として需要増加

2015年	2016年見込	2017年予測
475億円	483億円	486億円

市場は鏡もちの需要減に歯止めが効かず、近年マイナス成長となっている。2015年はアイリスフーズが新規参入し、鏡もちでキャラクターを使用した商品展開を行うなど従来にはなかった提案で若年層の取り込みを図ったが、ホームセンターやドラッグストアにおいて競合が激化し、一部企業で実績が減少したことから、市場が縮小した。2016年は例年以上に災害が多かったことから防災向けの保存食として需要が増加しており、市場は微増が見込まれる。

### < 調査結果の概要 >

	2015年	2016年見込	2017年予測
チルドデザート	5,460億円	5,531億円	5,631億円
フローズンデザート	5,251億円	5,428億円	5,524億円
ドライデザート	722億円	743億円	756億円
米飯類	2,320億円	2,465億円	2,513億円
めん類	1兆1,208億円	1兆1,296億円	1兆1,346億円
その他ステープル	1兆2,108億円	1兆2,490億円	1兆2,727億円

チルドデザートでは腸内フローラをはじめとした健康価値の見直しが進む中、ヨーグルトが伸長した。機能性以外でも水切りタイプ、ギリシャヨーグルトの好調が続いている。一方、これまで拡大してきた手作り風デザートは他の品目の伸長により売場が縮小し、伸びが鈍化している。

フローズンデザートでは、2016年は西日本を中心とした猛暑の影響によりアイスクリーム類が伸長している。冬季需要の定着が進む中、各社が期間限定商品の投入を活発に行い、大人の喫食者層が増加していることから市場は拡大していくとみられる。

ドライデザートは、一口タイプゼリーと、カップ入りで常温保存が可能なドライゼリーが市場をけん引している。一口タイプゼリーはこんにゃくを使ったヘルシーなメニューとして認知度の高まりと安全性への配慮が進み、伸長している。ドライゼリーは高価格帯の育成が進んでいるほか、食感や原料果実の希少性などで需要を喚起しており、伸長が続くとみられる。

米飯類は簡便性の高さや個食に対応しやすいことから冷凍米飯類や無菌包装米飯の伸長が続いている。冷凍米飯類(バラタイプ)では特に冷凍チャーハンが市場をけん引しており、2016年も引き続き拡大が見込まれる。雑穀ではもち麦の腸内フローラへの効果がメディアに取り上げられたことで需要が増加している。

めん類はチルド中華めんにおいて台湾まぜそばなど汁なしタイプの商品投入が進んでおり、市場は拡大が続くとみられる。カップめんは利便性の高さや袋めんの既存ブランドにおいてカップ商品が発売されるなど活性化が進んでおり、簡便性を訴求したカップ入りのそばやうどんも好調となった。

その他ステープルではチルドピザ・スナックが量販店向けピザのほか、CVS向けのワンハンドスナックが好調で市場の拡大が続いている。シリアルフーズは各社がグラノーラの安定供給体制を整えたことでチャネル開拓が進んでいるほか、細やかな商品戦略で多様化する需要を捉えており、今後も拡大が続くとみられる。

<調査対象>

<b>チルドデザート</b>		
チルドプリン	チルドゼリー	手作り風デザート
シュー	手作り風和菓子	ヨーグルト
プレーンヨーグルト	ハードヨーグルト	ソフトヨーグルト
ヨーグルト風デザート	アジアデザート	フルーツソース
<b>フロズンデザート</b>		
アイスクリーム類	高級アイスクリーム	マルチパックアイスクリーム
ノベルティアイスクリーム	冷凍ケーキ	冷凍プリン・ゼリー
シェイク・ソフトクリームミックス		
<b>ドライデザート</b>		
一口タイプゼリー	ドライゼリー	デザートベース(レトルト)
デザートベース(粉末・他)	和風デザート	しるこ・ぜんざい
<b>米飯類</b>		
冷凍米飯類(成型タイプ)	冷凍米飯類(バラタイプ)	無菌包装米飯・レトルトライス
セット食品	おかゆ・雑炊・リゾット	おかゆ
包装餅	発芽玄米	雑穀
無洗米		
<b>めん類</b>		
カップめん	生タイプカップめん	ノンフライカップめん・袋めん
袋めん	チルドそば・うどん	チルド中華めん
チルドパスタ	冷凍そば	冷凍うどん
冷凍中華めん	冷凍パスタ	乾めん
国産パスタ	輸入パスタ	ビーフン・米粉めん
<b>その他ステーブル</b>		
パン	食パン	菓子パン・惣菜パン
中華まんじゅう	冷凍ピザ	チルドピザ・スナック
チルドピザ	シリアルフーズ	プレミックスパウダー・無糖
お好み焼きミックス	プレミックスパウダー・加糖	栄養バランス食(ソリッドタイプ)
ホットケーキ・パンケーキ	パン粉	

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2016年10月～11月

以上

資料タイトル:「2017年 食品マーケティング便覧 No.3」

体 裁: A4判 319頁

価 格: 書籍版 100,000円+税

PDF/データ版 110,000円+税

書籍版・PDF/データ版セット 130,000円+税

書籍版・ネットワークパッケージ版セット 200,000円+税

発 行 所: 株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通

TEL: 03-3664-5811(代) FAX: 03-3661-0165

URL: <https://www.fuji-keizai.co.jp/>

e-mail: [info@fuji-keizai.co.jp](mailto:info@fuji-keizai.co.jp)

調 査・編 集: 東京マーケティング本部 第一部

TEL: 03-3664-5821

FAX: 03-3661-9514

この情報はホームページでもご覧いただけます。

URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>